

研究者情報

氏名	堺 秋彦
役職	桜の聖母短期大学 教授
所属	桜の聖母短期大学 生活科学科 こども福祉専攻 こども保育コース
最終学歴	福島大学大学院人間発達文化研究科教職教育専攻修士課程
学位	教育学修士（福島大学 2012年3月）
専門分野	幼児体育
所属学会	日本保育学会 日本体育スポーツ哲学会 日本幼児体育学会 アジア幼児体育学会 日本保育保健学会
主要担当科目	体育実技、体育講義、こどもと健康、保育内容の指導法（健康）、教育方法論、幼稚園教育実習事前事後指導、特別研究「こどもと体育」
研究課題	保育現場における運動あそびの在り方

研究業績／教育実績(主な著書・論文)

区分	著書・論文名等	発行所・掲載誌(書)・著書等	発行等年月
論文等	1. 「現代社会における幼児期の身体活動の在り方ー望ましい身体能力の育成を目指してー」	福島大学大学院修士論文	平成 24 年 2 月
	2. 「女子大学生に対する体育授業の在り方の検討」	桜の聖母短期大学紀要 第 37 号 (単著)	平成 25 年 3 月
	3. 「実習事後指導グループワークの取り組みにおけるー考察ーOST を活用してー」	桜の聖母短期大学紀要 第 37 号 (共著)	平成 25 年 3 月
	4. 「子ども理解を深める実習記録改定ー実習事後指導における活用法の検討ー」	桜の聖母短期大学紀要 第 37 号 (共著)	平成 25 年 3 月
	5. 「幼児期の運動遊びにおける課題と提言ー東日本大震災後の福島の保育現場に視点を当ててー」	桜の聖母短期大学紀要 第 38 号 (単著)	平成 26 年 3 月
	6. 「女子大学における体育授業の在り方ー親子の運動習慣定着を目指してー」	桜の聖母短期大学紀要 第 39 号 (単著)	平成 27 年 3 月
	7. 「放射能災害下の保育問題研究ー平成 25 年 26 年調査報告書ー」	日本保育学会 (共著)	平成 27 年 12 月

<p>8. 「幼児期の運動遊びにおける課題 －東日本大震災後の福島の保育現場に視点を当てて－」【査読】</p> <p>9. 「福島における幼児の『体力・運動能力』の推移調査の研究－福島原発事故の影響による『屋外あそびの制限』と『神経系の発達』に着目して－」【査読】</p> <p>10. 「幼児期における屋外遊びと運動能力の発達の相関－放射能災害下で屋外遊びが制限された影響に視点を当てて－」</p> <p>11. 保育施設における「体育教諭」の必要性の検討と提言 －東日本大震災後の福島の保育現場に視点を当てて－（報告）【査読】</p> <p>12. 保育実践に必要な保育者の「資質・能力」の考察と提言～教育の目的、幼稚園教育の基本、教師の役割に着目して～</p> <p>13. 東日本大震災後の桑折町幼児の運動能力測定の推移－屋外活動制限による幼児の運動発達の影響について－</p> <p>14. 実習評価と自己評価の比較からみる指導課題の検討 －保育実習Ⅰ（施設）と保育実習Ⅲの結果から－</p> <p>15. 実習日誌の現状と課題－学生へのアンケート調査から－</p> <p>16. 幼児期の運動発達と適齢期 －屋外活動制限による幼児の運動発達の影響に視点を当てて－</p> <p>17. 生活の変化に伴う幼児の運動能力への影響についての一考察 －新型コロナウイルス感染症による生活の変化に視点を当てて－ 【査読】</p>	<p>幼児体育学研究 第8巻第1号（単著）</p> <p>幼児体育学研究 第8巻第2号（単著）</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第41号（単著）</p> <p>幼児体育学研究 第10巻第1号（単著）</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第42号（単著）</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第43号（単著）</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第43号（共著）</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第44号（共著）</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第45号（単著）</p> <p>桜の聖母短期大学紀要 第47号（単著）</p>	<p>平成28年5月</p> <p>平成28年12月</p> <p>平成29年3月</p> <p>平成30年3月</p> <p>平成30年3月</p> <p>平成31年3月</p> <p>平成31年3月</p> <p>令和2年3月</p> <p>令和3年3月</p> <p>令和5年3月</p>
---	---	---

	18. 幼児期における運動遊びの意義 についての再考－神経伝達物質に 視点を当てて－ 【査読】	桜の聖母短期大学紀要 第48号（共著）	令和6年3月
--	---	------------------------	--------

主な社会貢献活動

社会貢献活動	活動年月日
檜葉町立あおぞらこども園幼児教育アドバイザー	令和6年4月～現在
檜葉町家庭教育支援事業 講師	令和5年5月～現在
川内村立かわうち保育園「運動あそび」 講師	令和6年4月～現在
桑折町子ども子育て会議 委員	平成29年5月 ～令和7年3月
東日本大震災ストレス解消運動教室 講師（かわうち保育園他）	平成24年4月 ～令和6年3月
<p>檜葉町立あおぞらこども園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「園児の体力向上を図るカリキュラムの実技指導及びアドバイス」 ・保育指導に向けた課題の洗い出しとアドバイス ・子どもとの関わり方や子育てのコツを学ぶ研修 他 <p>講師</p>	平成29年7月～ 令和6年3月
<p>双葉町ふたば幼稚園「園児の体力向上を図る実技指導と懇談会」</p> <p>講師</p>	令和4年9月 令和5年9月 令和7年2月 令和8年2月
<p>福島市家庭教育講座（親子運動遊び）講師</p> <p>福島市立おおとり幼稚園</p> <p>福島市立まつかわ東幼稚園</p> <p>福島市立清水幼稚園</p> <p>福島市立金谷川幼稚園</p> <p>福島市立まつかわ西幼稚園</p> <p>福島市立いいざか幼稚園</p> <p>福島市立笹谷幼稚園</p> <p>あいあい保育園</p> <p>福島市立まつかわ幼稚園</p>	平成24年11月 平成27年12月 平成30年10月 平成26年6月 平成27年6月 平成28年10月 平成29年1月 令和2年11月 令和5年11月 令和6年2月 令和6年11月 令和7年6月
<p>PTA教養講座（親子運動遊び）講師</p> <p>福島市立渡利幼稚園</p>	平成26年7月 平成27年6月

福島市立飯坂小学校 桑折町立醸芳小学校 大玉村立玉井幼稚園 福島市立森合幼稚園 福島市立杉妻幼稚園 福島市立岡山幼稚園	平成26年10月 平成27年5月 平成27年6月 令和2年9月 令和2年11月 令和3年11月
桑折町職員研修会 講師	平成25年8月 平成27年8月
桑折町家庭教育学級 講師	平成25年2月 平成26年1月 平成27年6月 令和5年5月
南相馬市母子推進委員養成講座 講師	平成25年10月 平成26年8月 平成27年8月・9月 平成28年8月・9月
南相馬市就学時健診子育て講座 講師	平成25年10月 平成26年10月 平成27年10月 平成28年10月
南相馬市親子運動遊び講座 講師	平成24年8月 平成26年6月 平成29年10月 平成30年10月
PTA教養講座（親子運動遊び）講師 福島市立渡利幼稚園 福島市立飯坂小学校 桑折町立醸芳小学校 大玉村立玉井幼稚園 福島市立森合幼稚園 福島市立岡山幼稚園 福島市杉妻幼稚園	平成26年7月 平成27年6月 平成26年10月 平成27年5月 平成27年6月 令和2年9月 令和3年11月 令和2年11月 令和6年6月
松川地区幼保連携合同交流会（運動遊び）講師 （まつかわ東幼稚園、まつかわ西幼稚園、金谷川幼稚園 さくら幼稚園、あいあい保育園）	平成26年10月

富岡第一・第二小学校家庭教育講演会講師	平成27年6月
福島県家庭教育支援者スキルアップセミナー 講師	平成27年7月・8月
福島県家庭教育支援者全県研修会 講師	平成28年7月 平成29年7月
福島県あそんで体力アップアップ事業 ー指導者養成講習会ー 講師	平成28年7月
本宮方部幼稚園教育研究会 講師	平成27年10月
南相馬市元気あふれる幼児育成事業 講師	平成29年2月
習志野市幼稚園実技研修会 講師	令和元年7月
福島市保育実践研修会 講師	令和5年6月 令和6年6月
福島県保育所・認定こども園協議会県北支部主任保育士研修会 講師	令和7年10月
郡山市子育て講座 講師	令和8年3月

特別研究

テーマ／概要	<p>「こどもと体育」</p> <p>(1) 自分自身の「体力」「運動能力」を捉え、向上を図るために、実技やフィールドワークを行う。</p> <p>(2) 乳幼児期の発達段階を理解し、こどもが心身ともに健康で日々の生活を送りながら「生きる力」の基礎を培うことを目指し、「運動あそび」や「表現あそび」の活動のあり方や指導方法について、実践を通して学習する中で、保育における「創造力」「実践力」「指導力」及び「協働性」を身に付ける。</p>
特別研究内容	<p>(1) 運動あそびやレクリエーションを研究し、保育施設で実践研究を行う。</p> <p>(2) ダブルダッチ、パラバルーン、組体操、マスゲーム、ダンスを研究しながら技能を習得し、作品として構成して発表する。</p> <p>(3) トレッキング、サイクリング等、フィールドワークを行う。</p> <p>(4) 鉄棒（逆上がり、前回り降り等）、マット（前転、後転等）、跳び箱（開脚跳び等）の技能を習得すると共に、指導法と補助法を研究する。</p>